



マイナビ

マイナビ『2020年度新卒採用・就職戦線総括』を発表

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、WEB面接が注目されたが、半数以上の企業は対面のみで面接を実施
株式会社マイナビ 2020年09月30日

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中川信行）は、2021年卒業予定の学生を対象とする、企業の採用活動と学生の就職活動および、今後の展望などをまとめた『2020年度（2021年卒）新卒採用・就職戦線総括』を発表しました。概要は以下の通りです。

<2020年度（2021年卒）新卒採用・就職戦線の主な特徴（一部抜粋）>

①インターンシップを実施したか否かで企業の採用充足率に大きな差が生じる

2020年6月時点の採用充足率（採用予定数に対して現在採用が確定している割合）について、インターンシップを実施した企業と実施しなかった企業を比較したところ、「0割（採用が確定している人はいない）」の割合に大きな差があった。全体でも「0割」は36.6%（前年比9.1pt増）と例年に比べ厳しい状況だが、インターンシップを実施していない企業に限ると割合は55.4%（前年比12.0pt増）まで増加した。

②面接のWEB化は大手企業が中心、半数以上の企業は全て「対面」で実施

21年卒新卒採用では「WEBセミナー」や「WEB面接」の導入拡大が話題になっていたが、企業によって「WEB化」の程度に差があった。実施した全ての面接をWEB化したと回答した割合は8.1%にとどまり、全て対面で実施した割合は52.4%と半数を超えた。ただし、従業員規模1,000

人以上の大手企業ではWEB化が進んでおり、5割以上の面接をWEB化したと回答した割合（「5割」～「10割」の回答を合算）は62.0%となった。

③21年卒で新卒採用を実施した企業の約8割は、2022年卒も実施する予定と回答

21年卒採用を実施した企業に22年卒の採用予定を聞いたところ、実施する予定（※）と回答した割合が8割を超えた（81.1%）。採用予定数について3.7%が「減らす」、16.8%が「未定」ではあるが、「2021年卒並」との回答が最も多く55.4%だった。新型コロナウイルスの影響によって景況感の見通しは不透明な状況が続いているが、定期的に新卒採用を実施している企業はおおむね継続するようだ。

④2022年卒のインターンシップは「対面」での実施が望ましいと考える企業が多数

WEBで実施するインターンシップについて企業に聞いたところ、「全ての就業体験は対面でなければ実施できないと思う」が37.7%、「一部、WEBで実施できるものもあるが、どちらかというに対面での実施が望ましいと思う」が53.7%となり、オンラインよりも対面実施が望ましいと考える企業が多い。

※「実施する予定（採用数は2021年卒より増やす）」、「実施する予定（採用数は2021年卒並み）」「実施する予定（採用数は2021年より減らす）」「実施する予定（採用数は未定）」の合算。

<冊子版表紙イメージ>



本資料の詳細について、『新卒採用サポネット』（<https://saponet.mynavi.jp>）で公開しています。
冊子版をご入用の場合は、マイナビ広報部までお問い合わせください。

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
社長室 HRリサーチ部
Tel：03-6267-4571
Fax：03-6267-4145
Email：myrm@mynavi.jp

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
社長室 広報部
Tel：03-6267-4155
Fax：03-6267-4050
Email：koho@mynavi.jp